



3 デジタルヘルスケア環境普及促進事業費

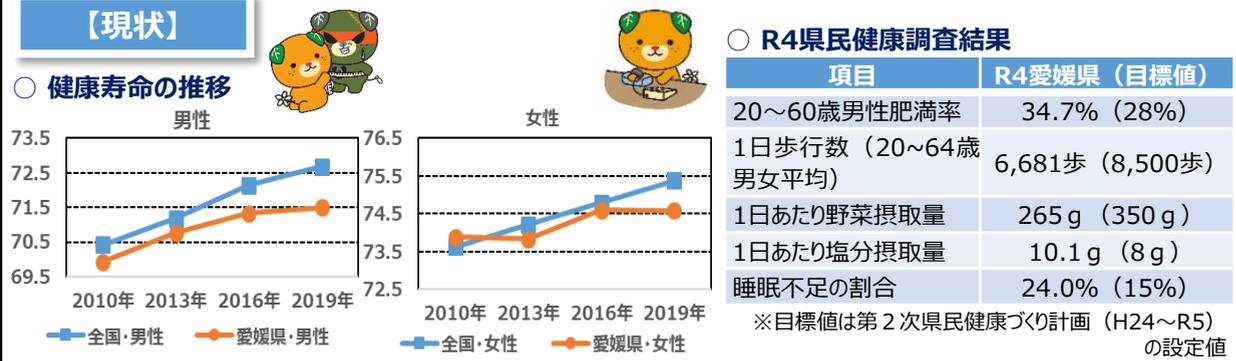
令和6年度当初予算(案)
予算額 75,733千円

健康寿命の延伸に向け、市町や企業と協働して楽しく継続的に健康づくりに取り組める全県民対象のスマートフォンアプリの整備・普及を図り、自然と健康になれる環境の構築と県民の健康づくりに係る行動変容を促す。

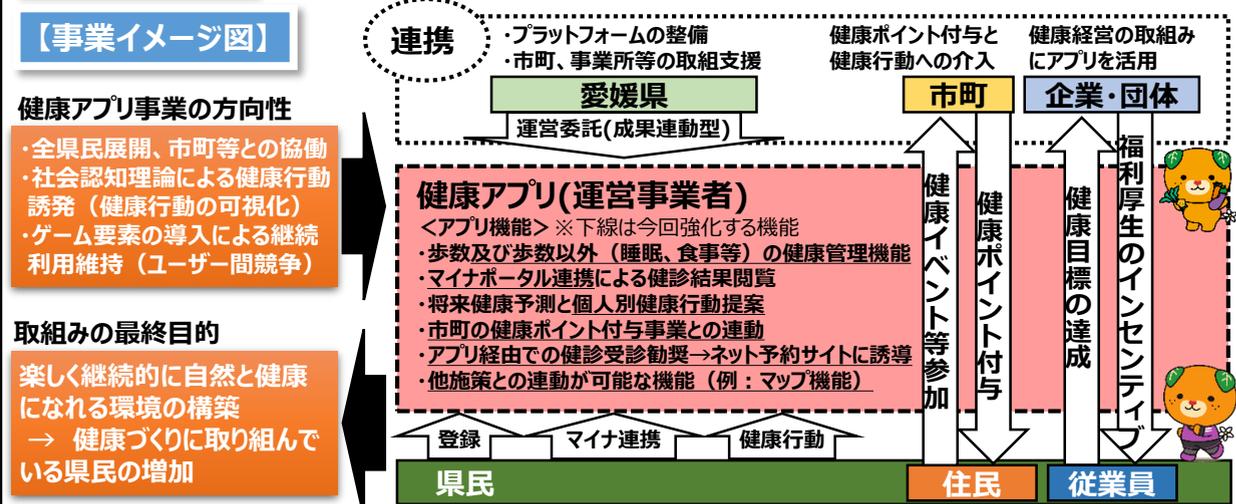
お問い合わせ先
保健福祉部健康衛生局
健康増進課
(089-912-2400)

指標	施策	6 生涯を通じた健康づくりの推進	現状値	71.8% (R4年度)
	KGI	健康診断(特定健診等)の受診率	目標値	75.0% (R8年度)
指標	細施策	6-3 健康づくりに関する個人の行動と健康状態の改善	現状値	49.1% (R4年度)
	KGI	健康づくりに取り組んでいる県民の割合(アンケート)	目標値	52.3% (R8年度)

事業イメージ	KPI	アプリにより健康行動を増加させた人数 (国保加入者を対象としたスマホ健康アプリの実績を踏まえ設定)	現状値	-
			目標値	10,000人(R8年度)



【課題】 本県の健康寿命は低位で推移し全国との差も拡大。令和4年度県民健康調査では、生活習慣病等の罹患に繋がる指標は改善しておらず、県民の健康づくりに向けた行動変容を促す仕組みが必要。



(R2~R5までに実施した県の健康アプリ事業(国民健康保険加入者限定)の一人あたり平均医療費抑制額:5814.5円)

事業概要

1 デジタルヘルスケア環境普及促進事業

(1)事業概要

- ①スマートフォン健康アプリの運営
 - 対象者:全県民
 - 主な機能:→事業イメージ図参照
 - 運用開始時期:令和6年9月
- ②アプリを活用した市町・事業者等連携施策の実施
→事業イメージ図参照

(2)経費概要

- ①運営費(58,080千円)
 - ・スマホアプリとデータサーバーの連携システム
 - ・コールセンター運営
 - ・マイナポータル連携
 - ・健康予測システム
 - ・健康情報配信等の運用経費
 - ・自治体広報活動支援・イベント開催支援経費
- ②市町連携に関するアプリ機能整備(7,920千円)
 - ・デジタルマップ機能、外部健康ポイント・インセンティブ連携機能
- ③委託先事業者成果連動対価(6,397千円)

令和5年度成果連動型民間委託推進事業(所管:行革分権課)で実施しているPFモデル事業で構築するアプリ利用が健康に与える影響(歩数の増加による抑制医療費、健診結果改善値)から一人当たりの成果報酬単価を算定し、継続的なアプリ利用が認められる利用者数を乗じた額とする。
- ④医療・健診データ抽出作業業務委託費(2,400千円)
- ⑤市町・事業所等支援活動費(936千円)

本事業におけるPFS(成果連動型民間委託契約方式)による成果報酬額の仕組み

中間支援組織(行革分権課PFS事業受託者)
(適宜)成果報酬額の算定に関する相談

県
①委託
⑤成果報酬支払
④成果あり

民間事業者
②サービス提供

健康アプリ利用者(全県民対象)
③健康行動の変容

県が国保加入者を対象に実施した健康アプリ事業効果の分析から得たエビデンス(R5分析実施・県民の健康行動の増加による医療費の抑制効果)